

科目責任者 岸野 吏志 (薬剤情報解析学教室)

■ 教育目的

医薬品の管理と供給の意義と必要性を理解し、正確かつ円滑に供給し、その品質を確保するために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

■ 学習到達目標

1. 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。
2. 特別な配慮を要する医薬品の管理と取り扱いについて説明できる。
3. 医薬品管理業務の中で誤りを生じやすい例を列挙し、それを回避するための具体策を提案できる。
4. リスクマネジメントにおいて薬剤師が果たしている役割を説明できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：医薬品管理の意義と必要性を調べておく。

復習：医薬品管理における薬剤師の役割を実践と結び付けて理解する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医薬品の管理と供給	概論	S401
2	製剤化の基礎 1	院内製剤の意義、手続き、品質管理	S408
3	院内感染	院内感染の回避法	S503
4	副作用 1	副作用の初期症状	S504
5	副作用 2	副作用と検査所見	S504
6	特別な配慮を要する医薬品 1	生物製剤、放射性医薬品	S405、S407
7	特別な配慮を要する医薬品 2	血漿分画製剤、輸血用血液製剤（1）	S404
8	特別な配慮を要する医薬品 3	血漿分画製剤、輸血用血液製剤（2）	S404
9	特別な配慮を要する医薬品 4	毒薬・劇薬、麻薬、向精神薬	S403
10	医薬品の安定性	代表的な剤形と安定性、保存方法	S402
11	製剤化の基礎 2	薬局製剤の意義、手続き、品質管理	S409
12	消毒薬	用途、使用濃度、注意点	S414
13	安全管理 1	事故事例、原因	S501
14	安全管理 2	誤りを生じやすい投薬例	S502
15	総合演習	まとめ	S401、S501

■ 授業分担者

No.1～6：岸野 吏志、No.7～8：吉田 久博、No.9～15：山崎 紀子

■ 成績評価方法

期末試験の成績（100％）で評価する。

■ 教科書

プリント